

「目指す子ども像」

R3.4.28 校内研②（グループ協議）

	主体的			対話的			深い学び		基礎基本	
低	つぶやく姿 「もっとしたい」という声 「楽しい」という言葉 友達の発表を聞いて「なるほど」と言う 類似問題を見て「分かった!」と言う 発表したがる、のってくる	盛り上がる姿 休み時間「まだしていいですか?」と言う あてなくても勝手に寄ってくる 「あててくれ」という様子 話し合いの形式にと とられず盛り上がる	学習の見通しをもって 意欲的に取り組む	自分をアンソング 隣の子と考えを共有する 自分の考えを伝えたり 友達の考えを聞いたりする 「○○ちゃんいいこと言うね」と 認め合う			発展持続する姿 学習内容と自分の体験を 結びつけて考えていこうとする 学んだことを生活で実践してみる 発展問題を解こうとやる気を出す 道徳の時間の役割演技			
中	〇〇〇したい姿 知りたい・確かめたい・やってみたい 関心を持って積極的に学ぶ 進んで学習に取り組む 自分で考えたい・確かめたい 自分たちで解決したい できるようになりたいと思う	笑顔で学習する姿 笑顔で学習に取り組んでいる		自然にやりとりする姿 子ども同士が協力し合える 困っている友達への自主的に動き教える 子ども同士がいろいろな考え方を話し合う 「こうしよう」「ああしよう」と試行錯誤し合う 意見を出し合い深めていく 子どもたち同士関わりながらやりとりが展開する			レベルアップする姿 自学ノートに発展問題を書く 自主学習に自分で調べたことを書く			
高	自分事になる姿 自分で考えを持てる 学習課題を自分事として捉える 自ら学び積極的に対話しようとする 自力で課題設定する 明確なゴールをつかみ、 解決しようと意欲を持つ	学び合うこと・ 教え合うことが楽しい	自分で見通しを立てる	進んで話し合い、 新たな発見や学びがある グループで試行錯誤 しながら練り上げる 他者の意見を取り上げる 対話を通して自分の考えが広がる			達成感・自分の生活への還元 達成感を持つことができる 学習したことを実生活に 還元できる 自分の成長を実感できる	実感を伴った理解 問題が解ける 実感を伴った理解		
特		やる気をもつて学習する姿 自分の考えを發表したいと 手を挙げたり話したりする やる気いっぱい 気持ちが上がっている にこにこしている 自分から進んで どんどん問題を解く 関心意欲をもって 学習に取り組める	見通しをもって 自ら学ぶ	認め合える姿 相手の得意なこと・苦手なことを 共感し認め合う できない子をできる子が 支えてあげられる 問題解決に向けてお互い教え合える 恐れることなく自分の意見を言える 友達の話を聞いて頷いたり 「なるほど」と言う 他者の意見を聞き入れる ことができる 支持的風土を 自分達で作ります	自分の体の変化、 心の変化に気づく 自分の生活習慣について 振り返る	自分との対話ができる姿	学んだことを生かして深めようとする姿 授業の続きに 関心を持ち、自ら 予習（調べよう）とする姿 質問をしたり他の ことにも関連づけて考える	音読ができる (役割読み、群読など) 計算ができる 自分の力で解ける 自分の言いたいことを 思いつく 自分の言いたいことを 表現することができる 人の発言を聞いて、 そのことが分かる 自分の自信の持てる 課題や教科がある		

「『目指す子ども像』を実現するための手立て・工夫」

R3.4.28 校内研②（グループ協議）

	問題提示、発問、見通し	誰もが活躍できる場	安心して学習、発表できる場	レベルアップ	教師の接し方・雰囲気	視点提示・モデル	実態把握・個に応じた指導
低	問題提示の順番の工夫 子どものつぶやきをどんどん拾う 文章・絵・映像などの資料の準備 視覚に訴える教材の工夫 ゴールに導く発問の工夫			ちょっと背伸びすれば できる目標を細かく設定 学んだことを生かして 少々ハードルの高い問題を提示 個に合った発展問題を用意 生活の中で問題を作る	児童の発見に大きさに驚く 褒めごろし 意欲喚起	友達の発言を聞く視点を提示する 多角的な見方をおさえる 目のつけどころを与える モデルを見せる	基礎基本はしっかり教える必要あり スキルアップの時間を設ける 基礎基本の定着
中	最近の出来事などと結びつける 導入の工夫 学習全体の見通し 日常生活での課題から導入 興味を引く導入 クイズやゲームを取り入れる	一人ひとりが活躍できる場 他人任せにせず 一人一人が考える場の設定	認め合える・安心してできる場 褒めたり応援したりする 分からないことは「分からない」といえる 「間違ってもいい」雰囲気 失敗や間違いも認める 教師も一緒につぶやく 教え合いながら、一緒に知る	個人のゴール（めあて）を明確に 自由な時間の確保 解き終えた子は ステップアップの問題を 取り組ませる	面白い話術 笑顔で授業 先生もスマイル 上下関係を崩さない程度の フレンドリー		
高	提示・発問・板書の工夫 身近なものを課題として取り上げる わかる授業（発問、指示、板書） 教材研究（多様な考えに対応） 板書を記録し、前時を振り返る 視覚的に提示 具体物を大切にメディアと組み合わせる	自分の考えをもつ 考えをもって参加させる ノートやタブレットに 自分の考えをもつ ノートを個々のタブレットに 写し出し、材料を共有して 話し合う	誰もが参加できる授業（安心して発言） 認め合う学級づくり 一人ひとりが認め合える いつでもどこでも話し合える雰囲気 異質集団での話し合い	自分の成長を感じる場の設定 毎時間の振り返り 自分の成長を俯瞰する 成長を見るために 蓄積できる物を作る	講話にならない 教師のスキルアップ 教師の授業力	話し合い方・まとめ方 考えの整理の仕方を知らせる （比較、分類、関連づけるなど） 考えの整理の視点を与える 話し合いの意義を理解させる モデルの提示	個に応じた指導 その子のレベルにあった課題
特	課題設定・見通し 子どもが目を輝かせる教材・課題づくり 視覚的な手立て テンポのよい授業、課題設定 教師が先にルールを提示する 見通しを持たせる 授業の流れのパターン化		安心感 失敗が自分の室になることを体験する 失敗しても恥ずかしくない環境 成功体験に導く 「すごい」「やった」など 言葉のシャワー 失敗しても安心して話ができる環境 できたこと・頑張っている過程を褒める 褒められていることが 視覚的に分かる評価		笑顔 笑顔で接する		実態把握 児童の性格、特性、学力を知る 本人や周囲の障害に対する理解を深める 個に合わせた教材教具の準備 前学年の学習が振り返られる （九九表が横にある） 基礎基本の定着 同じ問題を何回も解く フラッシュカード（4年生都道府県） 計算カード（たし算、ひき算） 言いたいことを一緒にみつける



